

## 平成31年度水産関係予算のポイント

○農林水産省全体の水産関連予算で水産改革を支援します！

総額3,200億円\*

(\* 3,200億円には既存基金の活用拡充分や他局計上の水産関連予算を含む。)

水産庁予算額 3,045億円

〔平成31年度当初予算 2,167億円〕  
〔平成30年度補正予算 877億円〕

(平成30年度当初予算 1,772億円)

① 水産業成長産業化沿岸地域創出事業 **新規** 100億円

○ 浜の構造改革に必要な漁船、漁具等のリース方式による導入を支援します。

※ ②ア)の事業と一体的に要望を受け付けます。

② 水産業競争力強化緊急事業【平成30年度補正予算】 **拡充**

ア) 水産業競争力強化のための漁船導入 201億円

○ 広域浜プランに基づく担い手へのリース方式による漁船の導入や国際水準に見合った漁船の導入を支援します。

イ) 水産業競争力強化のための機器等導入 56億円

○ 広域浜プラン等に基づく生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入を支援します。

ウ) 水産業競争力強化のための施設整備 32億円

○ 広域浜プランに基づき、高鮮度化、産地市場統廃合等による競争力強化を図るための共同利用施設の新設・改築、既存施設の撤去を支援します。

③ 漁業経営セーフティネット構築事業 **制度拡充**

(所要額) 103億円

※ 平成30年度補正予算を含む。

- 燃油や配合飼料の価格上昇に対するコスト対策を実施します。
- 燃油の急騰対策については、次のような制度拡充を行います。
  - ・ 国費負担の引上げ（価格上昇分のうち25%→37.5%）
  - ・ 発動要件の緩和  
（2年前から40%以上価格が高騰している場合も対象）
  - ・ 漁業者の自主積立の活用（通常対策を含む。）

④ 浜の活力再生・成長促進交付金 **新規** 54億円

- 漁業所得の向上を目指す漁業者による共同利用施設の整備、密漁防止対策、浜と企業の連携の推進など浜プランの着実な推進を支援します。
- 産地市場統合に係る施設整備については、既存施設の撤去費用も支援対象となります。

⑤ 水産多面的機能発揮対策 **拡充** 29億円

- 漁業者が行う藻場・干潟の保全や国境監視など水産多面的機能の発揮に資する取組への支援をします。

⑥ 漁協の活動支援 **拡充**

- 漁協による国境・水域監視活動や、水揚げデータの整理・入力作業等に必要な経費を支援します。（水産多面的機能発揮対策、スマート水産業推進事業で実施）